

【CL名】 欠保さん 【解答者】 アオちゃん 【作成日】 2023年11月10日 【作成時間】 40分

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

雇用延長のときには事務作業をやらせろと聞いていたが、今もバスの運転手をしていて話が違っていると感えている。(仕事自体は好きだが、肉体的・精神的にしんどく、会社のしわ寄せは堪えてほしい。

【設問2】 1行目：良かった点 2行目：悪かった点 この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

- (良) バスの運転手という仕事が好きな思いやしんどいところなど仕事観を伺えたのが良かった点。
(悪) 雇用延長をすと決めた当時の思いや今改めて当時のことをどう思われるか伺えなかった点。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ①問題 今の仕事を続けるかの判断基準となる、どのようなセカンドキャリアを築きたいかという(価値観の自己理解不足、及び、雇用延長後の仕事内容について会社とのコミュニケーション不足。
②その根拠 「(事務は)しんどくせいらしいから辞めようね」、「(更新について)悩みますね」という発言から自己理解不足、「事務所にて再送の仕事だ、たりのと」と思っているだけだね」という発言も奥様にしか悩みをお話していない様子から会社とのコミュニケーション不足があると考えられる。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

肉体的・精神的にしんどいから仕事を続けていられる相談者を労い、引き続き信頼関係の構築に努める。今までの経験や培ってきたスキルや知識を相取りし、「自身を振り返っていただくこと」これからのどのようなセカンドキャリアを構築したいか自己理解を深めていただく。また、雇用延長後の仕事内容や働き方について、上司や人事部などと面談して再度確認するよう提案する。その際、相談者が感じている肉体的・精神的な負担についても伝えるよう促す。これにより、相談者が主体的に今後のセカンドキャリアを構築できるような支援を行う。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述)解答用紙